

# 安心できる地域医療への貢献

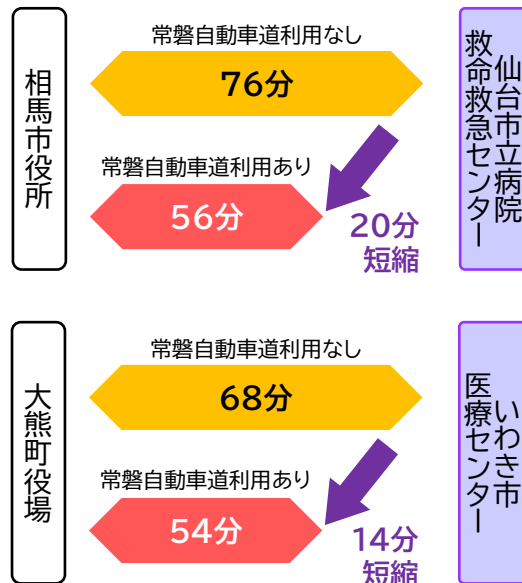
- 相馬市から仙台市内の三次医療施設までの所要時間が**20分短縮**し、大熊町からいわき市内の三次医療施設までの所要時間が**14分短縮**。
- 三次医療施設の**医療圏人口は約6万人増加**し、ネットワークの拡大に伴い傷病者への負担軽減に貢献。

## 沿線の三次医療施設の時間圏域の変化

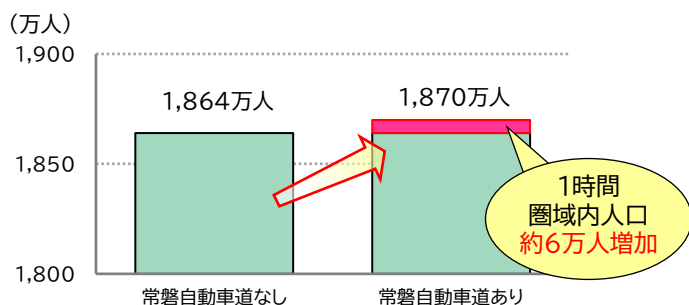


【資料】全国総合交通分析システム(NITAS)ver. 3.0

## 救急搬送時の所要時間

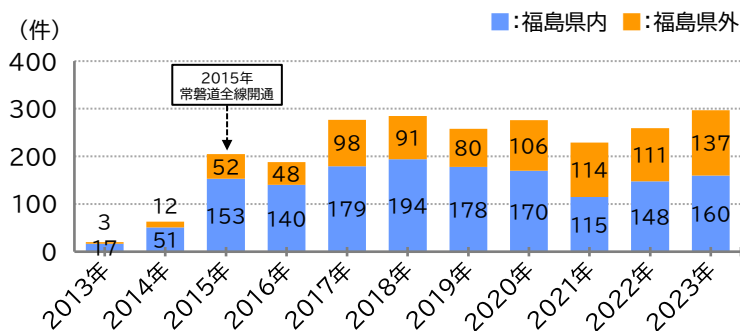


## 三次医療施設の医療圏カバー人口の変化



【資料】全国総合交通分析システム(NITAS)ver. 3.0、国勢調査

## 相馬地方広域消防本部における常磐自動車道を利用した救急搬送の推移



【資料】相馬地方広域消防本部ヒアリング結果

※相馬地方広域消防本部の管轄:南相馬市・相馬市・飯館村・新地町  
※2020年~2022年:新型コロナウイルス感染症対策期間(緊急事態宣言・蔓延防止等重点措置)が含まれる。



沿線自治体の声  
ヒアリング結果  
(2024年9月)

常磐道の全線開通により、仙台市やいわき市等、遠方の医療施設への搬送時間が短縮されています。道路線形が良く平面性に優れた高速道路を利用することで、救急搬送時における傷病者への負担軽減に寄与しています。



消防本部の声  
ヒアリング結果  
(2024年7月)

全線開通前は国道6号等一般道を利用していましたが、全線開通後は常磐道を利用することで、時間短縮と走行性の向上につながっています。